

メンテナンスの重要性

企画・設計段階で、壁面緑化のメンテナンスがどのように行われ、いくらコストがかかるのか？

きちんと計画されていることが重要です。

どの部位に、どの工法で、どのくらいの大きさを壁面緑化するといった何が起こるのか。長期修繕に計画はどのようになってゆくのか。

予想外のことが起きないようにプロジェクトに反映させておくことが大切なのです。



	予定作業内容				
	灌水の調整	薬剤散布	剪定	液肥補給	定期巡回
1月				○	○
2月					○
3月	●			○	○
4月		●			○
5月			■	○	○
6月	●		■		○
7月			■	○	○
8月					○
9月			■	○	○
10月	●		■		○
11月			■	○	○
12月	●				○
予算	年間維持管理費用 ○○万円/年				

※メンテナンスプランの一例です

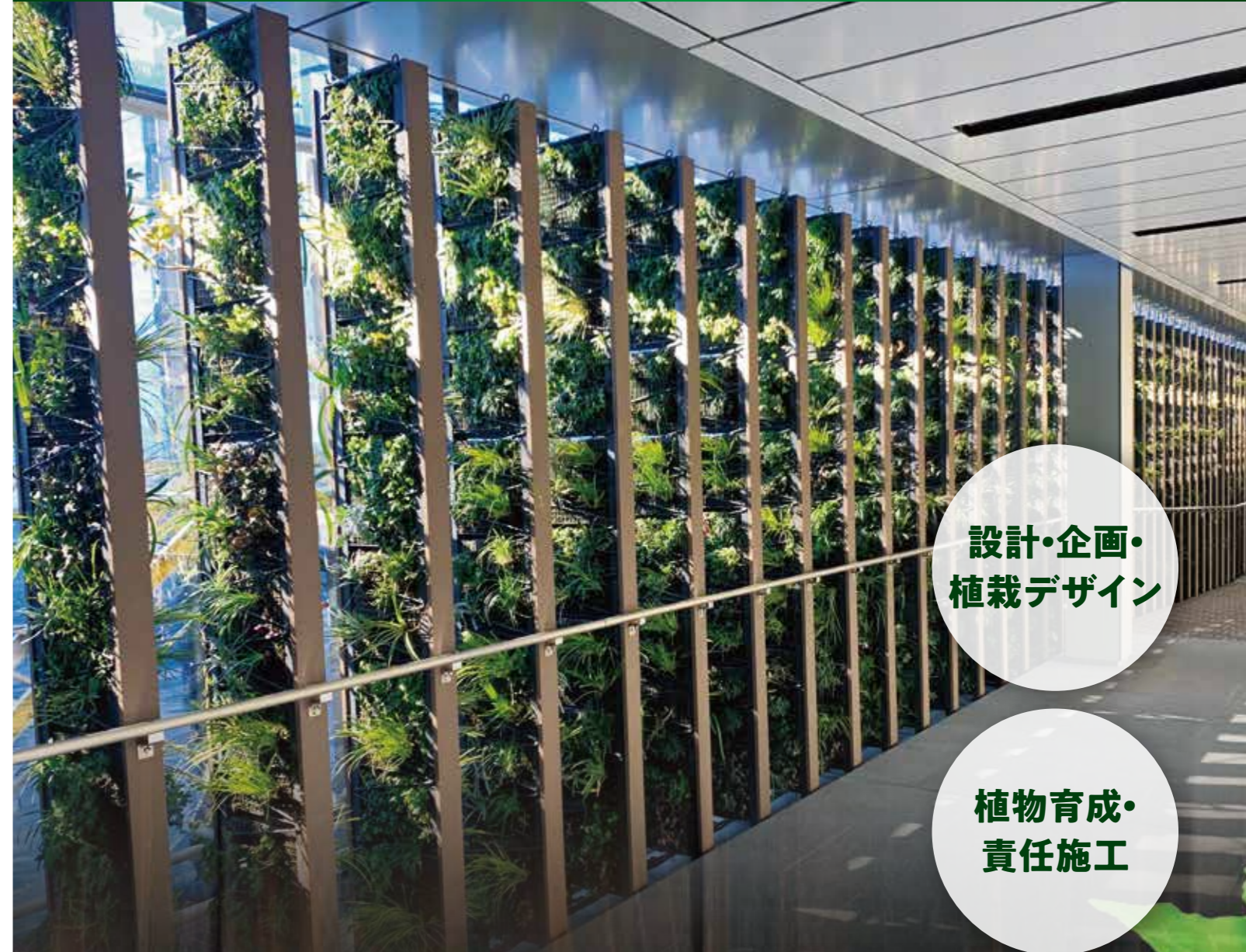
圃場での植物育成（養生）の重要性

強風、高温、乾燥、…など、ヒートアイランドの都市に晒される建築物の壁面緑化は、力強く生きていけるための準備があって初めて枯れずにあります。…そのために、植物選び、使用する苗の吟味、丁寧な植え付けなど、慎重な観察をしながらの育成、現場に合わせた順化、そして出荷と移動時の工夫…見えない丁寧な仕事が成功の礎（いしづえ）となります。



コミヤマ環境の壁面緑化

確実に成功し 美しく愛され続ける緑づくりのお手伝い



設計・企画・
植栽デザイン

植物育成・
責任施工

維持管理
(植物メンテナンス)

ご相談の一報をいただいたその時から…

お客様に最適の設計企画

植物のデザインと育成、施工プランニング

維持管理まで…

現実的なデザイン提案を行い、実現致します。

目的とイメージに合った壁面緑化を選び出し

植栽デザイン・設計～施工～維持管理までのすべてを行います。



企画・基本設計

- 緑化の目的
- 法規チェック
- 工法選択
…イニシャルコスト
- メンテナンス方法
…ランニングコスト
- 植栽デザインのイメージづくり
- 長期修繕計画
- ビルメンテナンス計画への繰り入れ

実施設計

- 工法ディテール
- 植栽デザイン
- 強度検討
- 構造体との取り合い
- 灌水システム
…衛生設備工事取合い
…電気設備工事取合い
- 特記仕様の作り方

施工ステージ

- 施工計画・施工要領
- 施工図対応
- 植物調達（育成養生）計画
- 電気・衛生設備の各所取合い
- 構造体との取り合い
- 安全管理・品質管理
- 各種検査実施

引き渡し

- 枯れ補償内容を引き継ぎ
- メンテナンス見積徴取
- 取扱説明（書）
- 各種保証内容の明確化

メンテナンス

- メンテナンス契約
- 初年度の維持管理実施
- 初年度メンテナンス要綱づくり

2017年グッドデザイン賞 受賞



グッドデザイン賞作品から「私の選んだ一品2017」展にも選ばれました。グッドデザイン賞の審査員のひとりひとりが、お気に入りや気になった受賞作＝「一品」を選び特別展示する特別展にも選抜展示されました。

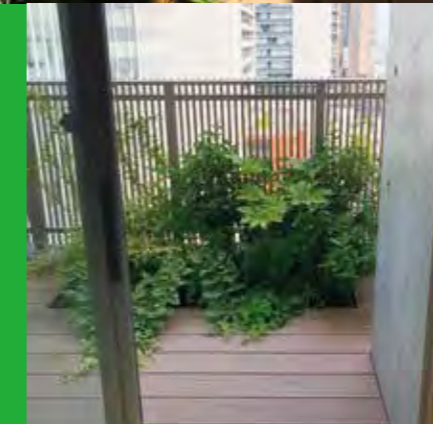
日本を代表するデザイン賞として広く知られる「グッドデザイン賞」には、毎年さまざまな分野のデザインが数多く応募され、審査委員がそれぞれの知見に基づいて評価を行い、受賞が決定する。グッドデザイン賞の審査委員は、デザイナーをはじめ、建築家や研究者、ジャーナリスト、企業経営者など、多様な領域の前線で活躍する国内外82名が務めている。本展では、ひとりひとりの審査委員のお気に入りや気になった受賞作＝「一品」を、2017年度グッドデザイン賞受賞展に先駆けて展示される。選ばれた「一品」は、商品をはじめ、建築、デザインが活かされた取り組みにいたるまで、幅広く審査委員の目線により読み解かれたひとつひとつのデザインから、デザインのもつ魅力や楽しさ、可能性が伝えられる。



バルコニー緑化



ビルの高層階でも人が管理できる通路の外側に植栽基盤を配置しつつ、外側から壁面緑化がみせられる工法です。



屋上緑化プランター



プランターを縦方向に段積みする配置や、プランター側面を緑被させるなど、プランターの多様な組み合わせで演出する工法です。

壁面緑化



エントランス等ルーバー緑化



縦方向にルーバーの壁面緑化を行う工法です。ユニット型のように圃場で育て上げた植物を基盤と一緒に取り付けますので初期から完成した緑となります。

警報灌水コントローラシステム

壁面緑化では植物を生育・管理するには水やりが特に重要となります。「警報灌水コントローラシステム」を設置することで、手撒きによる水やりより人件費と撒きムラによる無駄な水を減らすことができます。このシステムはビルの設計時から組み込んだ方がよりコストを削減できますので、事前の導入をお勧めします。また、水まきの実施をメールで通知してくれるので安心です。



必要な装備を最小スペースに設置。施肥は、原液タンクから、濃度調整したうえで点滴ドリッピングチューブから植物に与えられます。



警報灌水コントローラユニット、流量センサー、液肥注入ポンプ、電磁弁、バキュームブレイカー、ストレーナ、逆止弁などコンパクトに収納。

ONE STOP